



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2003年(平成15年)3月25日

第37号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアが活躍の場
あれこれ
企業・団体ボランティアネットワークとよなか
(Vネットとよなか) 編

会社人から社会人へ

企業が変わる！！まちが変わる！！

豊中市内を中心とする企業・団体などが行政や市民と連携しながら、地域社会にとって魅力的かつ効果的な社会貢献活動を推進することを目的に平成11年12月に結成。現在30社が加盟しています。会では、社会貢献に関する調査、研究、情報交換、企業ボランティアセミナー、社会人のためのボランティアスクール、チャリティーイベント、ニュースの発行、啓発活動等を行なっています。

長引く不況で、企業としても厳しい状況ですが、経済性と社会性を二つの柱にさまざまな企業の挑戦は始まっています。2月からは定年後の退職者のためのボランティア相談会もスタート。企業市民としての新しい役割に大いに期待がかかります。



好評の社会人のためのボランティアスクール



ヒューマンカーニバルもすっかり市民に定着



企業へのボランティア出前講座



定年退職後のボランティア相談

* 4月14日(月)から18日(金)までボランティア活動推進センター「ぷらっと」でまちにやさしい事業所パネル展示を開催いたします。是非お立ち寄りください。

第10回 豊中

ボランティア

リレートーク

テーマ「ボランティアが地域福祉計画に期待するもの」

V ネットの松本さんは「会社人間の私がちょっとしたきっかけで人の喜びが自分の喜びにかわりました」、あさなぎで手話活動をしている西尾さんは「少しおせっかいをしてみれば。でもでしゃばりはダメよ」、松本さんは車椅子社交ダンスで活躍、「相手の方と一緒に楽しめたらいいかな」。「拠点作りが活動の広がりを見ました」と上野地区社会福祉協議会の福本さん。コーディネーターの玉置先生を中心に楽しくも意義ある話が飛び交い、時間が足りないほどの盛り上がりを見せたリレートーク「ボランティアが地域福祉計画に期待するもの」でした。

(ステッキ K.S.) * 関連記事 : 6ページ

子ども遊びコーナー



子ども遊びコーナーって、どんな事をやっているのかなとのぞいて見たら子どもの姿はなく、大人遊びコーナーの様でしたが、折り紙がたくさんあり、カエル、連獅子、雛人形、くす玉、孔雀鶴など色とりどりの作品でいっぱいでした。ワァー可愛いと手にとって見ていたらどうぞと言われ一緒に教わりながら楽しんでいたら4・5人の子ども達が入ってきて作り始めました。

担当の方は「子ども達は覚えるのも折るのも早く、時に次にどうだったかなと考えることもありますよ」とのことでした。子ども達に「どうですか」と聞いてみたら、「難しいけど楽しいよ」と真剣な顔をして次々作っていました。久しぶりに童心に帰り、心が和みました。(そよかぜ N. H.)

2月16日(日)、豊中市民会館で開催された子ども遊びコーナー、リレートーク、福祉企画が用意され、子どもから大人まで



右から

・コーディネーター : 玉置 好徳先生 (梅花女子大学講師)

・パネラーの皆さん

松本正宏さん(企業・団体ボランティアネットワークとよなか)

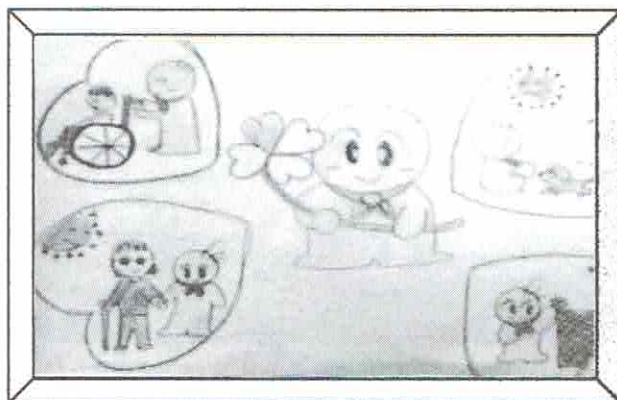
西尾敦子さん(手話サークル「あさなぎ」)

松本暁子さん(NPO 法人 車椅子社交ダンス普及会)

福本正明さん(上野地区社会福祉協議会)

ボランティアイラストコンクール

市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、『「ボランちゃん」がボランティア活動をしている姿』をテーマのイラストを募集したところ、105点の応募がありました。その中から、最優秀作品1点と優秀作品4点が選ばれ、ボランティアフェスティバルの中で表彰式が行われました。



最優秀作品:桜塚小学校 5年生

坂本 奈津季さん

フェスティバル

れました。ファミリーボランティア体験、の店「なかま」の出張店などさまざまな約1300人の方々が来場されました。



ファミリーボランティア 体験コーナー

手話、対面朗読、インスタントシニア、点字、アイマスク、ホームページ作成、車椅子、リフト付自動車試乗体験の8つの体験ポイントをスタンプラリーで回り、5つのスタンプが集まったら景品をプレゼント！今年も多くの方が参加されました。

点字コーナーを担当していただいた点字サークル「つくしんぼ」の近藤恭扇さんにコーナーを担当した感想をレポートしていただきました。

ボランティアフェスティバルの点字体験コーナーを、今回始めて担当させていただきました、わずか半日ではありましたが、いろいろな年齢の方と接して私も楽しく勉強させてもらうことができました。

まだまだ教わることばかりの半人前の私ですが、今回人に教えることの難しさと、伝わったときの嬉しさを体感することができ、もっともっとがんばろうと、改めて

思いました。

点字体験された方が、これをきっかけに点字に興味を持ってくださり、もっと知りたい、学びたいと思ってもらえたらとても嬉しいです。

私のつたない説明を聞いてくださった皆様、お世話になりましたスタッフの皆様、どうもありがとうございました。

福祉体験作文

「体験の中で感じたことと学んだこと」をテーマに市内の小・中・高校の児童・生徒を対象に作文を募集し、241点の応募がありました。この中から6名の方にボランティアフェスティバルで発表していただきました。

「手話ではなさそう」

野畑小学校 二年

西村 まゆこ

《その他発表して
いただいた方》

「お年寄りとのふれあいで
学んだこと」

第十四中学校 一年

川端 麻由佳

「点字の大切さ」

第五中学校 二年

山本 篤慎

「ドキドキしたけど…」

北丘小学校 五年 遠山 貴子

「ボランティアを通して学んだこと」

履正社学園中学校 一年

大嶋 那歩

「点字体験」

豊島小学校 五年 二宮 亜衣



災害支援訓練・研修会

阪神・淡路大震災から8年。毎年豊中市社会福祉協議会では災害支援訓練・研修会を開催しています。今年は、1月19日(日)に開催。午前7時30分に震度6強の地震が豊中市全域に起きたことを想定し訓練を行いました。また、2月27日には災害支援ネットワークのメンバーが神戸に新しくできた「人と防災未来センター」を見学しました。

豊中市職員アマチュア無線クラブ

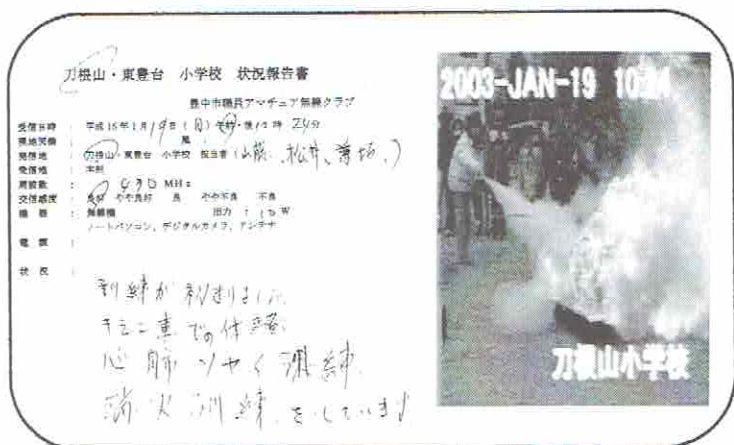
による画像配信を実施しました！

JR3YAZ 会長 山中 忠誠さん

私達豊中市職員アマチュア無線クラブ(JR3YAZ)は、豊中市の職員で無線を趣味としていた者で、災害時などに非常無線通信の役割が重要だと1975年に結成されたクラブです。

平成7年1月17日発生の阪神淡路大震災では、阪神間の電話が不通になり多くのアマチュア無線家がボランティアで通信の役割を果たしました。近年は、携帯電話の普及が非常に高まっていますが、いざ大事故や年末年始のように利用頻度が上がると通信規制が働き通話不能となります。

当クラブではその時に備えて、平成14年度からはデジタルカメラの画像を、アマチュア無線



送信されてきた画像と報告書。リアルタイムで様子がわかります。

で送信しようと取り組み、多くの方の参加でパソコンを利用した無線設備の製作会を開催し、新しい設備を製作しました。その設備を使って災害支援訓練の際には刀根山小学校と、東豊台小学校から本部(市立福祉会館内に設置)へ、現状報告などを即座に画像とともに送信し、見事大好評の成果を果たすことができました。

レポート

阪神・淡路大震災記念<人と防災未来センター>見学

2月27日、神戸市中央区脇浜海岸通りにある阪神・淡路大震災記念<人と防災未来センター>を見学しました。阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の災害による被害の軽減に貢献する為の施設です。

センター内では、震災の発生直後から復興が進む現在までの姿を、迫力ある映像や被災者などから提供された貴重な資料で伝えています。

ボランティアの語り部、谷川三郎さん(当時、芦屋市建設部長)が熱く語られたのは感動しました。

アンケートで一番困ったこと1位:トイレの用水、2位:飲料水と食糧の確保、3位:電話の不通。

備えとしては1位:懐中電灯、2位:携帯ラジオ、3位:水(バケツ一杯分・風呂等)。最低3日間

持ち堪えられるように備えたい。8年の歳月は私たちの脳裏から薄れていきますが改めて普段からの防災の必要性を痛感しました。

(豊中アッシー T.I.)



ボランティアはじめま専科

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」では、ボランティアを始めたい人のためにボランティア団体連絡会加盟団体の協力を得て、ボランティアミニ講座を開催しています。

～ 参加者の感想 ～

今まで障害や病気をお持ちの高齢者の方と接したことがなかったので、インスタントシニア体験で高齢者の方の気持ちを理解することができました。

まだまだ、何が出来るのかわからないのでこれからも関心のある講座やグループに参加して見つけていきたいです。



★ インスタントシニア体験 ★



陽射しはあるものの風の冷たい2月3日ステッキの「ボランティアはじめま専科」が行われました。参加者は4名。インスタントシニア装具を付け、市役所前よりバスで豊中駅へ。阪急電車に乗り換え、岡町へ。商店街を歩いてぷらっとへ。白内障対応メガネで揺れるバスの中でバス賃を出したり、カードリーダーにカードを入れようと思っても入口が捜せなく、運転手さんに手伝ってもらったり。運賃表、時刻表が読めない、商品説明の時間が読みづらいなど、盛りだくさんの体験をした一時間になりました。帰って重りをはずした足の軽さに驚きの声があがりました。お疲れさまでした。

(ステッキ: K. S.)

★ パソコン作成体験 ★



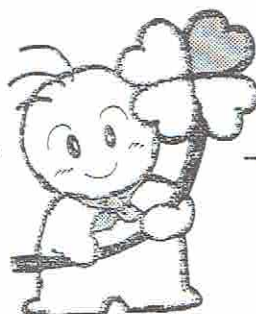
2月19日(水)午前10時～12時、「ぷらっと」にて講師が登録ボランティアグループ「アクセス」の担当で開催されました。

パソコンを使ったホームページの体験実習とこの日は特に画像音声電話のデモなどもあり、予定以上の参加者(11名)は有意義な時間を過ごされました。

参加者の中には「ボランティアを始めたい」という希望者もおられました。

(アクセス M. Y.)

「ぷらっと」では、ミニ講座を随時開催しています。広報「とよなか」やボランティアセンターのホームページなどでお知らせしますので、お気軽にご参加ください!



ボランちゃん

がんばってます！！介護相談員

平成15年1月より介護保険施設への訪問による相談活動に加えて、訪問介護サービス利用者の素朴な疑問や不安などの相談(利用申込みの窓口ではありません)にもお応えしています。

1月にスタートして以来、毎回相談があります。是非、お気軽にご相談下さい。

専用相談日 毎週金曜日 午後1時から3時30分
(祝日は休み)

場 所 福祉会館(来館または電話・FAXで)

相 談 員 介護相談員(サポーター)

電話番号 6844-1366

F A X 6841-2388



《 介護相談員より 》

今年から週1回、介護相談員による訪問介護の相談窓口がスタートし、私も2月に参加させていただきました。緊張しながら待っていたところに電話が鳴り、お電話を伺いました。相談は1時間以上に及びました。介護保険制度も今年で4年目を迎えますが、いまだに周囲の理解が得られず、一人で悩まれている方も多く、改めて在宅での介護にあたるご家庭の大変さを感じました。一緒に考えさせていただくことで少しずつよい方向に向えばと考えています。(井岡潔美)



地域福祉計画策定に向けて校区福祉検討会実施

平成14年11月から平成15年3月(一部4月上旬)にかけて38校区でワークショップ形式等による校区福祉検討会を開催致しました。この検討会には、小学生から子育て中の保護者、障害者、高齢者等幅広く約2000名の方々が参加されました。

これらの検討会で出された意見は、校区福祉委員会の課題別検討会議でまとめ、5月に地域福祉計画策定委員会に報告されます。

《地域福祉をより発展させていくための校区の主な課題》

- ・人のつながりの問題
- ・福祉啓発
- ・防犯
- ・ニーズ把握
- ・情報提供のあり方
- ・環境
- ・バリアフリー
- ・マナー
- ・校区拠点の必要性
- ・人材の確保
- ・人材養成(特に若い人・男性)
- ・財源の確保
- ・保健福祉医療の連携
- ・身近な相談窓口
- ・社会福祉施設の増設及び連携
- ・推進体制の強化
- ・行政の姿勢
- など



ワークショップの様子(中豊島)



市社協登録ボランティアグループ リーダーより新年度の抱負

皆んなで力を合わせて、元気に頑張ってお手伝いできればと思っています。

子育て・家事援助
ボランティアグループ
「そよかぜ」
仁井谷信子さん



皆様のおかげで今年は10周年。これからも遊びと生き甲斐のため精進いたします。

歌体操ボランティアグループ
「さわやか」
高橋達雄さん



ひとり暮らし高齢者の思い、その人の気持ちに寄り添って受け止めたい。

友愛電話訪問
ボランティアグループ
「聴くの会」 谷戸忠彦さん



高齢者介護
ボランティアグループ
「ステッキ」 土屋 宏士さん

今年度は従来の方法にとらわれず、発想を転換して楽しく働こう。

外出介助・送迎
ボランティアグループ
「みちしるべ」 細谷正純さん



メンバーが安心して活動できる環境整備と、利用者に喜ばれる運転マナーの向上を。

パソコンを使って仲良く

パソコンボランティア
グループ「アクセス」
山口宗之さん



お年寄りや障害を持っている人達に対してお役に立てる活動の強化。

これからも一つひとつの依頼を大切にがんばります！

運転ボランティアグループ
「豊中アッシー」
和氣一也さん



青少年
ボランティア
グループ
「つぼみ」
寺田久美子さん



ビデオ制作
ボランティアグループ
「ズームイン」 小谷朝哉さん



手づくり介護用品製作
ボランティア
グループ
「小さな手」

山口三恵子さん

私達は介護用品を作るグループです。少しでも体にやさしい物をとがんばっています。



ビデオを見て、ボランティア仲間が増えていったらウレシイですね。

ボランティアレポーター 訪問記

ラポールひらかたを訪ねて

(枚方市立総合福祉会館)

市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」

細谷正純さん

3月3日、みちしるべのメンバー10名で、ラポールひらかたを訪問。この施設は、枚方市独自で、平成10年5月に京阪枚方市駅から徒歩約5分の非常に便利な所に建てられた。4階建てで、1階：デイサービスエリア(浴室、機能回復訓練室、食堂)、福祉機器展示コーナー、2階：温水プール、障害者のための訓練室、作業室、3階：各種研究室、4階はボランティアセンター、福祉活動コーナー、ミーティングルーム等と、大研修室、福祉資料コーナーが完備。この会館は、高齢者や障害者だけでなく、一般の人たちも自由に利用できる(土・日も開館)。

見学当日は平日であったが、非常に多くの人たちが利用されていた。印象に残ったのは、建物全体が明るく、余裕があることと、利用者の立場に立った立地条件である。



いきいき歌体操グループ「さわやか」 「大阪府知事表彰」を受賞

歌体操グループ「さわやか」が「大阪府知事表彰」を受賞しました。

「さわやか」は、高齢者関連施設や病院、地域の集まりなどで童謡や唱歌、歌謡曲などに合わせながら、身体にリズムをつけ、楽しみながら体操を行っているグループです。

また、南桜塚小学校も積極的にボランティア体験活動を行なっている点が評価され、同じく「大阪府知事表彰」を受賞しました。

編集後記

21世紀になれば・・・との思いを抱いて。でもまだ身も心も冷えていくような事の多いこと。

平成15年度の各グループリーダーの紹介をしました。この思いを核に小さな力を合わせて足元を照らしていければ。(ステッキ K. S.)

ボランティア保険

ボランティア活動などに安心して取り組むための保険制度です。ご利用ください。

★ボランティア保険

ボランティア活動の参加者

・保険料 (年間1人)

Bプラン 500円

Cプラン(天災担保) 700円

・補償期間

申込日の翌日から翌年3月31日まで

★非営利・有償活動団体保険

NPO法人、各種福祉活動グループ・団体
(5名以上)

・保険料 (年間1人)

Aプラン 4,900円

Bプラン 6,300円

・補償期間

申込日の翌月15日から翌年3月31日まで

★ボランティア・市民活動行事保険

スポーツ活動や子ども会活動など

各種市民活動を行う団体

・保険料 (1人)

I型(宿泊なし)・・・30円～

* 掛け金は行事内容によって異なる

* 20名以上からご加入下さい

II型(宿泊あり)・・・1泊 248円～

* 行事開催日の7日前までにお申し込み下さい

【お申込み・お問合せ】

豊中市社会福祉協議会 Tel. 6841-9393

